

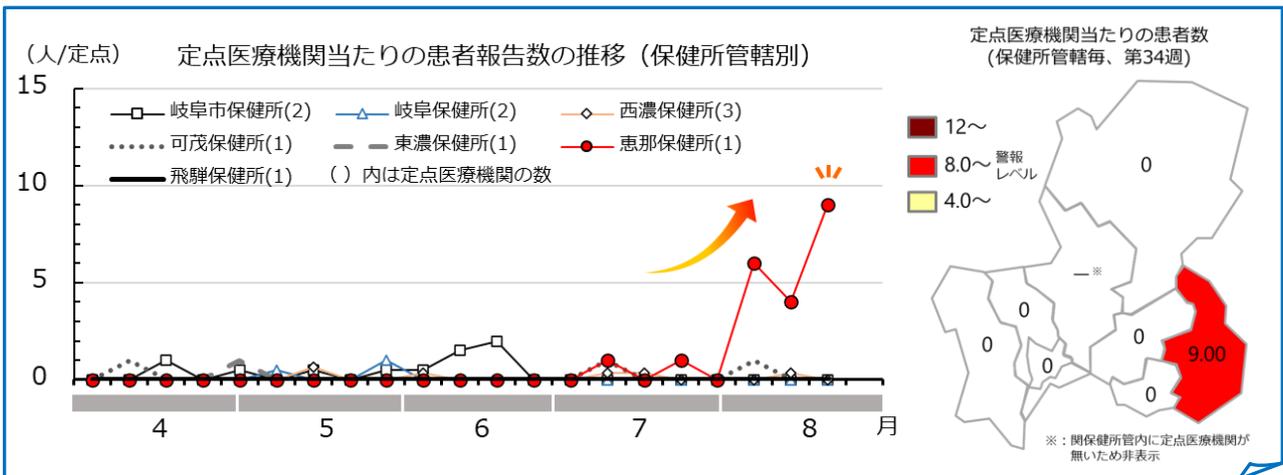
# ぎふ感染症かわら版



令和6年8月29日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

## 流行性角結膜炎（はやり目）が流行する兆候があります。

流行性角結膜炎は、夏に多い目の病気で、その患者報告数が恵那保健所管内で増加しています。目の充血や、目やになどの症状があり、子供から大人まで幅広い年齢でかかります。学校や家庭内で感染することが多く、新学期が始まるこれからの時期、感染がさらに拡大する可能性も考えられ、タオルを共用しないなど、日常での感染予防をお願いします。



### 感染に注意が必要な人

#### ◆ 新生児や乳幼児

（細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすことがありますので注意が必要です。）



### 主な症状と注意点について

アデノウイルスの感染によって、目の結膜に炎症を起こします。感染すると1~2週間後に、結膜の腫れ・充血のほか、目やにや涙がたくさん出るなどの症状が急にあらわれます。

結膜炎は2~3週間で治まりますが、炎症が強いと、角膜（黒目）の表面に小さな濁りができて見えにくくなることもあり、この濁りは消えるまでに数カ月かかることがあります。



### 主な予防対策について

- こまめな手洗いを行う
- タオルや目薬など、目に触れるものは個人用とし、他の人と一緒に使わない
- 目を拭くときはティッシュペーパーを使い、直接手で目を触らない



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

